



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい
投信 なるほど
リップバー

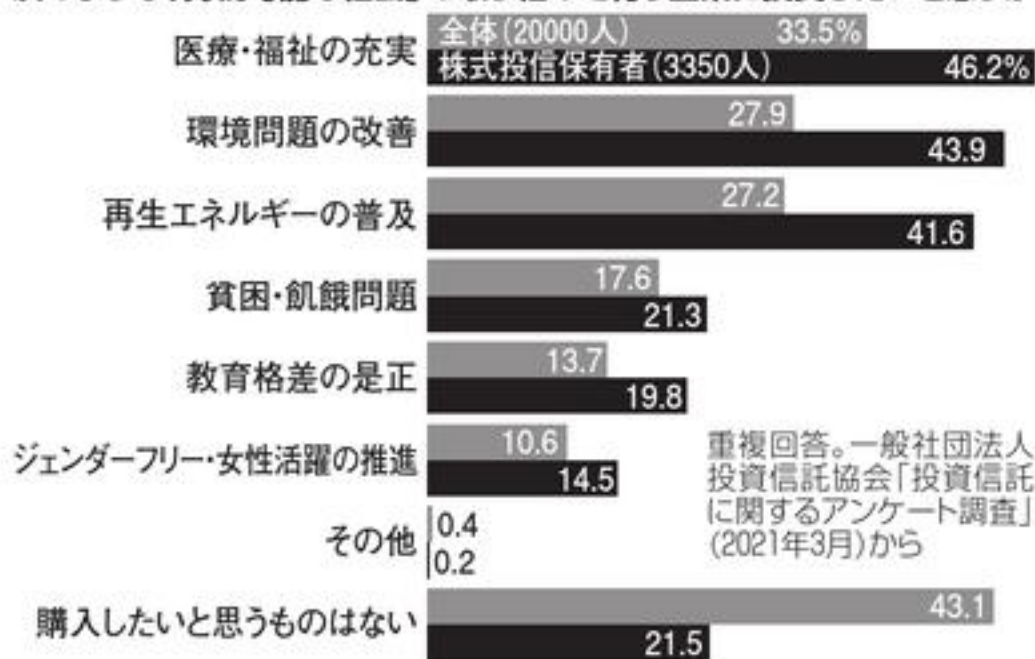
ESGに対する投資家の意識 企業に求める取り組み、年代で差

コロナ禍で、持続可能な社会への関心が高まっています。投資家も、「ESG」や「SDGs」に、以前より意識を向けるようになりました。「ESG」は「環境(Environment)」、「社会(Social)」、「企業統治(Governance)」の頭文字。「SDGs」は国連で採択された、

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の頭文字です。

投資信託協会が2020年11月にインターネットで20~79歳の2万人に実施した、「投資信託に関するアンケート調査」では、株式投資信託を持つ人は、ESGに取り組む企業への投資意向がより高いこ

次のような「持続可能な社会」の取り組みを行う企業に投資したいと思うか



とがわかりました=左下グラフ。

興味深いのは、年代別にみると、投資したいと思える企業の具体的なESGの取り組みに違いがあったことです=右下グラフ。若い世代は、高齢者層に比べて貧困・飢餓、教育格差、ジェンダーフリーに取り組む企業に投資したいと思う人が多いようです。

従来の投資判断では、企業の実力を示す業績や財務などを重視してきました。稼げる企業に投資すれば高い投資取

益が得られる、との考えからです。ところが経済の発展は、気候変動や環境汚染、人権や格差など、社会の課題をもたらしました。

私たちは、ごみの分別をしたり、エコバッグを使うようになったり、誰もが平等に学び働ける権利を重んじたりするようになりました。これらと同じように、ESGに取り組む企業に資金を投じるのが自然だと思える日も、近づいているのではないのでしょうか。

投資したいと考える企業の取組みには、年代による差があった

